

要 請 書

外務大臣 林 芳正 殿
防衛大臣 岸 信夫 殿

日頃は、我が国の平和と国民の安全のために、御尽力いただいておりますことに深く感謝申し上げます。

さて、これまで本県では、本県上空で米軍機による低空飛行訓練が実施されないよう、国に対し、繰り返し要請して参りました。

また、令和2年11月には、全国知事会でも、「米軍基地負担に関する提言」を取りまとめ、米軍機による低空飛行訓練等について、国の責任で必要な実態調査を行うとともに、訓練ルートや訓練が行われる時期について速やかかつ詳細な事前情報提供を必ず行い、関係自治体や地域住民の不安を払拭するよう、十分な配慮を行うよう要請しております。

しかしながら、本県では、米軍機と見られる航空機の低空飛行訓練の目撃情報が増加しており、3月24日現在で、過去最多であった昨年度の同期を上回る73日の目撃情報が既に寄せられております。特に、夜間の飛行訓練に関しては、目撃情報の3割を占めており、周辺の住民は、その轟音に強い恐怖と不安を抱いております。

以上のことから、県民の安全・安心を確保するため、次の事項について、改めて強く要請いたします。

- 1 日米合同委員会の合意等に反する低空飛行訓練や夜間の飛行訓練など、住民に不安や懸念を抱かせる訓練が実施されないよう対処すること。
- 2 事前に可能な限り詳細な飛行訓練に関する情報を把握し、時間的余裕を持って提供すること。
- 3 国の責任において騒音測定器を設置するなど、米軍機の低空飛行の実態把握に努めること。

令和4年3月29日

徳島県知事 飯泉 嘉門